

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームまほろば

(ユニット名)

3Fユニット

記入者(管理者)

氏 名

ホーム長 日下 史郎
介護職員 石井 悠起子・笹田 ヨシ子

評価完了日

平成 19 年 10 月 1 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月17日

【評価実施概要】

事業所番号	3873700383		
法人名	医療法人社団みのり会		
事業所名	グループホームまほろば		
所在地	西予市三瓶町朝立2番耕地1番地7（電話）0894-33-2877		
管理者	日下 史郎		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年11月6日	評価確定日	平成19年12月17日

【情報提供票より】 (平成19年10月1日事業所記入)

(1)組織概要				
開設年月日		平成15年9月1日		
ユニット数		2 ユニット	利用定員数計	16 人
職員数		16 人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 16.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)				
家賃(平均月額)		18,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金		有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)		有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	300 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			
(3)利用者の概要 (平成19年10月1日現在)				
利用者人数		16 名	男性 1 名	女性 15 名
要介護1		3 名	要介護2	8 名
要介護3		3 名	要介護4	0 名
要介護5		2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.25 歳	最低 71 歳	最高 101 歳	
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算				
指定 (あり)・なし		指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)		指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)		短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし		医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

- 事業所では「利用者と職員は家族である」という思いのもと、支援されている。職員は、利用者から調理の仕方や昔の習わしを教えてもらうこともある。「ありがとう」の言葉を大切に支えあいながら暮らせるよう取り組まれている。
- 毎週、近くの図書館へ本を借りに行く利用者がおられ、本を選んだり、決めたりする場面でも職員は、ゆっくりその方のペースに合わせて支援されている。
- 市より委託を受け、IADL訓練事業や2ヶ月に1回、認知症介護教室を開催されており、寸劇を交え地域の方達にも認知症の理解を拡げておられる。介護相談員を受け入れておられる。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受け、各居室は、ご家族の協力を得てご本人の馴染みのものが増えてきている。お月見会の後、家族会を開催し、ご家族の意見や要望を出していただいたり、介護計画に対してのご家族の意向をうかがえるよう取り組まれた。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・全職員で自己評価に取り組み、各ユニットごとにまとめられた。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議時の話し合いで回覧板を回していただけるようになった。又、畑を借りることや地区の行事の情報等も得られ、地区行事への参加等、利用者の生活の拡充につながっている。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・定期的に、まほろば通信を発行され、毎月、利用者の暮らしぶりを手紙や写真で報告されている。利用者の誕生日にはお誕生日新聞を家族に送り、写真も同封され喜ばれている。病院受診時には、毎回電話で報告されている。
▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・近所の方が回覧板を届けてくれる際、利用者とお話をされることもある。手芸、こけ玉などのボランティアの来訪や高校生の職場体験も受け入れておられる。町民運動会に参加し、利用者も宝探しの競技に参加された。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			運営方針として、独自の理念を作りあげ地域の一員としての生活を送っている。		
			(外部評価)		
			事業所では、理念として、ケアや環境作り、関係作り等について、7項目の運営方針を揚げ取り組んでおられる。		さらに「地域密着型サービス」事業所として、地域の中でどのようなことに取り組んでいくかということについても、この機会に話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			玄関や共用空間に理念を掲げ、又、常時、朝礼、会議等を通じて管理者は伝えている。全スタッフは共有し日々努めている。		
			(外部評価)		
			玄関、各ユニットに「7項目の運営方針」が掲示されている。又、職員は、方針が書かれた小さなカードを携帯し、日常的に確認されている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			西予市より委託を受けている介護教室や運営推進会議等、また、家族には、入居時、訪問時等を通じて理解を頂けるよう取り組んでいる。		まだまだ、認知症に対する理解度が不十分な面がある。地域に出向いての交流、介護教室等、あらゆる機会を通じ理解を頂くよう努めて行きたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩、野菜作りなどで出会った方に声をかけるようにしたり、訪ねていただいた人には、いつでも訪ねてくださいなどの声掛けを行っている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ホームの文化祭に招待したり、地区主催のふれあい広場に参加、町内の一員として回覧板もまわり地区との交流に努めている。 (外部評価) 近所の方が回覧板を届けてくれる際、利用者とお話をされることもある。手芸、こけ玉などのボランティアの来訪や高校生の職場体験も受け入れておられる。町民運動会に参加し、利用者も宝探しの競技に参加された。		年2回程度町内のフリーマーケットにも参加している。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 定期的に介護教室、IADL教室を開催して、地域の方々の理解を得るようにしている。		認知症の方のためのホームではなく、一個人の家として地域の方に接していただけたようにしたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価、外部評価の結果を全職員が把握し、それによって、よいところ、悪いところを見直し、次回の評価にいかせるように、努力している。 (外部評価) 全職員で自己評価に取り組み、各ユニットごとにまとめられた。前回の評価結果を受け、各居室は、ご家族の協力を得てご本人の馴染みのものが増えてきている。お月見会の後、家族会を開催し、ご家族の意見や要望を出していただいたり、介護計画に対してのご家族の意向をうかがえるよう取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			実施した行事の報告、評価で指摘を受けた改善点など を報告、それらを通じてアドバイスを受けサービスの 向上に努めている。		地区の委員によるアドバイスで、地区に働きかけ、地 区の行事に参加できるようになったり、回覧板を回し てもらえるようになった。
			(外部評価)		
			会議時の話し合いで回覧板を回していただけるよう になった。又、畑を借りることや地区の行事の情報等も 得られ、地区行事への参加等、利用者の生活の拡充に つながっている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			市から委託を受けている認知症介護教室、IADL訓練事 業等、常時、市との交流を図りながら情報を得たりア ドバイスを受けながらサービスの質の向上に努めている。		
			(外部評価)		
			市より委託を受け、IADL訓練事業や2ヶ月に1回、認 知症介護教室を開催されており、寸劇を交え地域の方 達にも認知症の理解を拡げておられる。介護相談員を 受け入れておられる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			法人内での研修や機会あるごとに管理者が話している 為、職員は認識している。必要ある時は支援して行き たい。		開設以来後見制度の適用者はいない。必要者ある時 は、いつでも受け入れるよう体制を整えるべく努めて いる。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待防止法などのプリントの配布などにより、勉強し たり、その時々で話題となることがあったら、話し 合っている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 約款、重要事項説明書、運営方針その他、法人内の病院、老健等のバックアップを十分に説明し納得して頂き同意を得ている。		
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日常、また、入居者各自の誕生日、ホーム内の行事前に何をしてほしいのか希望を聞き実現に向け努めている。不満、苦情等は、散歩時や訪室時にさりげなく聞き、管理者、職員必要に応じ家族、ケアマネ等と協議して対応に努めている。		家族には訪問時や、手紙等で意見、不満、苦情等を聞くようにしているが、家族に遠慮があり、本音を言えない面があるように思う。入居者、家族が遠慮なく素直に意見の言える環境作りに努めて行きたい。
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 常時、遠方の家族には、電話、写真、手紙、出納簿の写し等を送付して、近隣の家族には訪問時に状況を伝えている。 (外部評価) 定期的に、まほろば通信を発行され、毎月、利用者の暮らしぶりを手紙や写真で報告されている。利用者の誕生日にはお誕生日新聞を家族に送り、写真も同封され喜ばれている。病院受診時には、毎回電話で報告されている。		
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 入居時、苦情相談機関として、内外部の苦情申し立て機関、ホーム苦情相談窓口のあることを重要事項説明書に明記している事、法人内の相談員やGH運営委員に相談できることを説明している。 (外部評価) 家族会を開催され、ご家族の希望や要望を聞いておられる。又、ご家族の来訪時等にもうかがい、ケアへの要望等をいただいている。		多くの意見が家族の方から出るように積極的に声掛け、手紙等でお願いしていきたいと思う。 今後、さらに、ご家族から意見を出していただけるよう、雰囲気作りや声掛け、お手紙等で働きかけていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会議、運営に関するアンケート、朝礼、申し送りなどを通じて意見提案を聞き運営に反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の体調、行事(誕生日など)にあわせて、勤務の調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動によるダメージを少なくする為の配慮として職員の移動はユニット間で最小限度に実施している。退職者の代わりは、法人内の老健より経験豊富な職員の勤務異動で対処している。 (外部評価) 職員は、ユニット間で移動はあるが、日頃から両ユニットの利用者、職員は交流する機会があり、顔見知りとなっている。職員の離職時には、法人施設から介護経験が豊富な職員が移動してこられている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内外の研修等においては、参加の機会をつくっている。資格取得の条件が整った職員に対しては取得出来るよう支援している。 (外部評価) 職員が外部研修を受講された際には、他の職員に内容を報告されている。事務所前に1ヶ月の目標を掲げ、利用者個々の支援について、常に職員で話し合いながらチームでケアできるよう取り組まれている。		今後、法人内の症例発表会時、腰部圧迫骨折の利用者が治癒するまでの取り組みについて発表する予定となっていた。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者 と交流する機会を持ち、ネットワークづく りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、 サービスの質を向上させていく取り組みを している	(自己評価)		
			他のグループホームの職員の研修を受け入れること によって、情報を得たり、与えたりしながらサービスの 質の向上を図っている。		いろいろな施設に声をかけ、多くの情報交換をおこな い、よい点を積極的に吸収していけるよう交流を行 なっていききたい。
			(外部評価)		
			地域の他のグループホームの職員研修を受け入れてお られる。		今後、事業所では、他の事業所に出向き、交流を図れ るような機会を作っていきたいと考えておられる。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽 減するための工夫や環境づくりに取り組ん でいる	(自己評価)		
			日帰り旅行、食事会などを行い、職員の慰労を行っ ている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組 み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、各自が向上心を 持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の人事考課を実施して、一人一人面接して、仕事 に対する向上心を持てるよう、出来る所は評価して、 努力すべき所等は話し合っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困って いること、不安なこと、求めていること等 を本人自身からよく聴く機会をつくり、受 けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人の訴えを傾聴し、その時々で職員が話し合い、本 人が、納得、安心できるように努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 機会あるごとに、手紙、家族との直接的な出会いによって、意見を聞き、困っていること、不安の解消に努力している。		
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けたときには、よく話を聞き家族が納得できるような対応を心掛けている。		
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人が馴染むことができるように、本人を交えての時間を多く持ち、徐々に馴染んでいけるようにしている。 (外部評価) 入居前には、ご本人、ご家族とゆっくりお話しされている。ご本人、ご家族に事業所を見学していただいたり、利用者の方達と過ごす等、ご本人が徐々に馴染めるよう取り組まれている。		
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人ができることを、見つけ、行ってもらうことにより、ありがとうの言葉を忘れず、感謝を持って職員も一緒に学んでいる。 (外部評価) 事業所では「利用者と職員は家族である」という思いのもと、支援されている。職員は、利用者から調理の仕方や昔の習わしを教えてもらうこともある。「ありがとう」の言葉を大切に支えあいながら暮らせるよう取り組まれている。		介護ではなく一緒に生活している家族だと言う意識を持って利用者の良いところを吸収するという考えで過ごして生きたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 折に触れて、手紙で家族の方に近況報告などを行ったり、訪問の際には、気づいたことなどを報告、または尋ねたりしている。		
29		○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 遠方の家族には、何かの折に電話をしたり、訪ねていただいた家族の方には、家族だけでゆっくりとお話ができるように、居室にて過ごしていただいている。		家族だけではなく、時には、他の利用者、職員も交えた会話などが楽しめるような雰囲気を作れたらよいと思う。
30		○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) いつでも好きなときに友人が訪ねて来られ話をしたり、生まれたところを、訪問し、近所の方と話をしたりしている。		
31		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ひとりの時間を大切にしながら、孤立しないように、家事など手伝っていただくことで、互いに話ができるように、関わりを持っていただくようにしている。		できること、できないことを決め付けることなくみんなが一緒になって、協力して、孤立することなく生活をしていけるように支援していく。
32		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 当ホームとの契約が終了後も家族に様子を伺い、時には相談に応じ、また、入院や他の施設に入所された方に対して面会に行ったりして、つきあいを継続している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		自分の意見を表現できない利用者に対して、時間をかけ、ゆっくりと待つ時間をもてるようにしていきたい。
			努力して、本人の考えを聞くようにしているが、自分の考えを表現することが難しい方には行動、言葉から把握し支援している。		
			(外部評価)		
			選んだり決めたりすることがむづかしいような利用者の方にも、時間をかけて表情や行動等から思いを把握できるよう努めておられる。		
34		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人、家族の方の話、施設などでの利用状況などで、過去の生活状況の把握を行っている。		
35		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			会話、記録、バイタルなどから心身の状態を把握、理解し、一日の過ごし方を考えている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		家族の遠慮のない意見を聞くことができるような雰囲気や家族の方に対して持てるようにして、ケアに生かしていけるように努力していきたい。
			家族の意向を手紙、または面会の折に聞き、担当者、他の職員で本人にとって一番良いと思えるケアプランを作成している。		
			(外部評価)		
			お手紙やご家族の来訪時等、ケアへの希望等を聞き取り、計画に採り入れられるよう努めておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを実施 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			介護計画の見直しが必要と思われたときには、話し合 いによって、その都度見直しを行い、よい方法を考え ている。		少しの変化も見逃すことなく、変化が見えたときすぐ に介護計画の見直しを図っていきたい。
			(外部評価)		
			6ヶ月ごと見直しをされている。毎月のケア会議時、 ケアサービスの内容(前回の評価、今回のニーズ、ADL の変化など)について現状に合った見直しを行い、計 画を作成されている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			個別に毎日記録を行い、朝礼、申し送りによって、利 用者の情報を共有し、ケアの実践を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			併設のデイサービス、法人内の老健との交流による相 互の支援、同じく法人内の病院による健康管理等、多 機能性を活かした支援体制ができています。		併設のデイサービスと合同の行事(花見、月見、文化祭 等)を実施したり、法人内の病院による定期受診等の 支援をしている。
			(外部評価)		
			法人のデイサービス等と交流する機会や利用者の誕生 日に、ご本人のふるさとを訪問する機会を作ってお られる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアの参加、消防などの火災訓練など、必要に応じて利用者参加のもと、行っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をすることは常に念頭にあるが、実績は無い。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターの所在地が離れており、また、開設が平成19年4月の為まだ十分な立ち上がりも出来ていないと評価する。従って、これまで当方の働きかけもしなかったが先方にも協働の余裕がなかったようである。		今後、地域包括センターと協働できる事項を検討し、当方から働きかけていくつもりです。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ病院と連携がとれており、いつでも連絡が取れる体制にある。また、歯科医院などは、本人、家族の希望に添えるようにしている。		
			(外部評価) 週1回看護師の訪問もあり、いつでも隣接の法人病院に相談できるようになっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 地域に認知症専門医がなく、主治医に相談して対応している。		将来的には、専門医の受診を仰ぎたいが近くに専門医がない為、当面は、法人内病院の医師、及び入居者の主治医と相談しながら対応して行く。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
			訪問看護ステーションの看護師が定期的(週一回)に訪問して健康のチェックを行なっている。また、職員が看護師に相談、情報交換できている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)		
			入院時は、状況を把握の為に、度々入院先に出向いたり、関係者や家族との情報交換や相談に努めた。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)		
			現段階においては経験はないが、重度化、終末期についての対応方法は話し合い、共有している。		法人内での対応方法の研修に参加したり、管理者は、心構えを話している。必要ある時は、対応できるよう全職員が共通の方針を共有できるよう取り組んでいる。
			(外部評価)		
		職員は、利用者が重度化した場合や終末期の対応について、法人内で研修を行っておられる。		今後、ご本人の思いや家族の希望等、折に触れ聴き取り、かかりつけ医等とも相談しながら、職員全員で共有していきたいと考えておられた。	
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)		
			重度化や終末期の入居者に対して精神的に安定出来るよう関わりの機会を多くして、穏やかに日々を過ごせる環境をつくり、また、常時、主治医と連携をとりながら対応支援できるように取り組みをしている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)		
			本人が他所に転居される場合において、本人に関わるケア関係者に知りえる情報を提供、相談に応じ、転居にともなうダメージ軽減の為に協力を努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報 取扱いの取り扱いをしていない	(自己評価)		
			名前を呼ぶ時は入居者、職員共に、さん、で呼ぶことを統一している。人の誇りを損なうような言葉かけをしないよう、プライバシーの侵害をしないよう、職員相互で話し合い注意している。		
			(外部評価)		
			利用者、職員同士、「～さん」と呼ぶ事を徹底されている。トイレ誘導時、ご本人のプライドを傷つけない声かけ等に配慮をされていた。		
51		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			一人ひとり、それぞれに分かりやすいように説明し、自分で決めていただけるような支援をしている。		
52	21	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			相手（入居者）のペースに合わせた援助をしている。		
			(外部評価)		
			毎週、近くの図書館へ本を借りに行く利用者がおられ、本を選んだり、決めたりする場面でも職員は、ゆっくりその方のペースに合わせて支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容、美容は、本人、家族の希望で、家族の方がカットされたり、訪問美容を利用している。外出時は、お化粧をされる方もおられ、それぞれに、おしゃれを楽しまれている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえや盛り付けなど、個々の出来る範囲で一緒にしていただいたり、盛り付けを工夫するなどしている。		
			(外部評価) 調査訪問時、利用者と職員と一緒に食事の支度や後片付けをされている様子がうかがえた。職員は、利用者にさりげなく声をかけ、全量食べられるよう支援されていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個々にあわせ、盛り付けを工夫したり、お誕生日には、本人好きなものをメニューに取り入れたりしている。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握し、体調などを考慮しながら、個々に合わせたケアをしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入居者が入浴したい時やタイミングに合わせて入浴できるようにしている。季節の行事、ゆず湯、菖蒲湯、時にはハーブ等を入れ、入浴を楽しんで頂くよう配慮している。		ともすると、風呂に入りたがらない入居者がある。清潔保持の為、週3回以上タイミングに合わせ入浴して頂くよう配慮している。
			(外部評価)		
		事業所では、朝から夕方まで、いつでも入浴できるよう準備をされている。入浴を嫌がる人には、声かけ等工夫し、入浴していただけるよう取り組まれている。			
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの生活リズムを尊重、それぞれが安心して眠れるよう、職員が情報を共有しながら支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人ひとりの趣味や特技を生かした、それぞれに合った、支援をしている。		
			(外部評価)		
		植木に水やりをされている方や軍手の袖口をほどく方、それをコースターに編み直し、染色する方、雑誌を購読されている方、畑で野菜作り等、趣味や楽しみごとを個々に支援されている。又、地域の回覧板を回す当番の際には利用者と職員で回しておられる。			
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族の希望に応じ生活上必要なお金はホームで預かっているが、小遣いは各自、自分で所持している。力量に応じて買い物等が出来るよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者の希望を聞きながら、買い物や図書館、ドライブなど屋外に出かけられるよう援助している。		
			(外部評価)		
			散歩や買い物等、又、ドライブ等、季節を楽しみに外出をされている。		
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			ふるさと訪問をしたり、家族等と外出できるよう支援している。		
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望により、その都度支援している。		
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族、知人、友人等の訪問は何時でも自由歓迎している。時間も制限していないし、湯茶のサービスもしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価) 開設以来身体拘束をしたことはない。職員は身体拘束 に対しては、研修や管理者が常時、話している為理解 している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は安全上、夜間時は施錠しているが昼間はしてい ない。居室においては鍵をかけることはない。		
			(外部評価) 玄関、エレベーター、階段の扉等、鍵は掛けられてい ない。全ての職員は、鍵を掛けないケアの大切さを理 解し、実践されている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 今までは、注意の必要な物品、例えば、刃物、裁縫用 具等においては、必要時以外はそこに置かないよう にしていた。		刃物等の危険物は必要以外直ちに収納していたが、今 後は個々の力量に応じて対応して行きたい。但し、夜 間時は全て収納する。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 入居者個々の記録で事故歴、事故の起こる危険性等を 把握し、職員全員が共有して事故防止に取り組んでい る。事故が起こったときは、職員で防止策を話し合い 記録として残し反省と今後の参考にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 応急手当や、初期対応について、勉強会を行なっている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回の防火訓練を実施している。地震の避難場所、津波、水害時の避難場所もマニュアル化して、常時管理者により伝えられている。日頃より地域の方々の協力を得られるよう努力している。 (外部評価) 年2回の避難訓練を実施し、消防署の指導を受けて訓練を行っておられる。		今後は、地震、水害等の災害時を想定し、昼夜を問わず利用者が非難できる方法を身につける為に、避難訓練を具体化していく。 非常口にあるはしごを使った訓練の実施や災害時には、建物内の空きスペースを近隣の方に使っていただくこと等も考えておられた。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時にグループホームのあり方を説明して理解して頂いている。常時、ホームでの生活状況も見ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一人ひとりの様子から体調の変化や異変の発見に努め、早期発見と対応に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全職員は、薬の目的、副作用、用法、用量を理解している。服薬の支援と服薬後の状態を観察して適応しているか確認している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェックをしている。水分補給をこまめにして頂き、身体を動かす声掛けを行っている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 常時、入居者の栄養のバランスを考え、食事の摂取量を観察して少ない場合は副食等で量を確保し、水分補給については居室でもリビングでも自由に出来るようにしている。 (外部評価) 法人の栄養士の方に献立をたててもらい、事業所で食事作りをされている。食事の際の汁物、お茶、食後の飲み物、おやつ等で必要な水分を確保できるよう支援されている。居間や居室等で、いつでもお茶を飲むことができるよう用意をされていた。		栄養のバランスをとる為、栄養士の献立を基本としているが、時々旬の食材を取り入れたり、入居者の、希望を取り入れ調理している。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症マニュアルを作成している。ペーパータオルの使用、使い捨て手袋の使用、充分な手洗いや、うがいの実施に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食中毒予防のために、台所、調理用具等の衛生管理を行なっている。安全な食材の使用と管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りには四季折々の草花を植え、家族や近所の方々が気軽に立ち寄れる雰囲気作りに努めている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節感のある飾りつけをしたり、昔から伝わる、菖蒲湯、ゆず湯や四季折々のハーブ湯、季節の食材での調理等、風習を取り入れながら、季節感、生活感を感じられるよう工夫している。 (外部評価) エレベーター昇降口に季節の花を飾られ、昔懐かしい民具等も飾られている。本箱に本が用意され、利用者個々が居心地良く過ごせるよう工夫をされていた。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) それぞれの部屋に訪問したり、リビングの長いすを利用し、おしゃべりを楽しまれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			居室内には、使い慣れたタンスや絵画、写真等馴染みの物があり活用されているが、現状において、充分とはいえない。今後家族と共に考えて行きたい。		18年度の外部評価で要改善の指示を受けた項目である。 家族と相談し協力をお願いしている。
			(外部評価)		
		部屋に記念写真を飾られたり、使い慣れたタンスや好きな服をたくさんかけておられる方もうかがえた。ご親族のお位牌に毎朝手を合わせられる方もおられる。			
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
		適度に喚起は行なっている。温度調節は、利用者の状況に応じて行なっている。			
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下には絨毯を敷き、手摺を設置している。入居者の身体状況に応じて入居者の必要な箇所に、高さの違った手摺を設置、その他、身体機能を活かして安全で自立した生活が送れるよう工夫している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			居室、トイレなどの入り口には特徴ある飾りを目印としたり、リビングにも座布団の色を個々に変えたり、食器等も馴染みの物を使用、そのほか、混乱や、失敗を防止する工夫をしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の周りには四季折々の草花を植え散歩コースとしている。廊下には、メダカを飼育したり鉢植えを置いたりして、おやつを食べたり、外気浴をしたりする団樂の場としている。		

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	自分の意見を表現できる利用者に対しては、できていると思われるが、意見を表現できない利用者に対しては、職員の意向が働いていることがあると思われる。
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	時間的には制限せず、食後、おやつ、作業の後等に、だんらんの時間を取っている。
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者はそれぞれのペースを持っているので、よく把握し、おしつけることなく、一人ひとりのペースを大切に支援している。
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	認知症の程度により多少の差はあるものの、入居者は毎日を明るく元気に過ごされている。
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の方が外出したいと申し出たときには、希望に沿うように努めてはいるが、その日の職員の勤務状態によっては、希望に沿うことが出来ないこともある。
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療連携先の看護師による週一回バイタルチェック等の健康管理、法人内の病院及び主治医による定期受診、等々、常時入居者の健康管理に努めている。
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は、入居者のその時々状況や要望等を柔軟に対応しながら安心して暮らしていただけるよう努めている。
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族と常に連絡をとりながら、意見、要望等を聴き共に問題点について話し合い解決に努めている。
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己評価) 1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	入居者の家族、親戚、知人、地域の方等、誰かが訪ねて来ている。訪問された時は必ず湯茶のサービスをしている。職員一同訪問しやすい環境づくりを心掛けている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己評価) ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を通じて、地域や、地元の関係者とのつながりが広がり、ホームの理解者が増えている。
98	職員は、生き活きと働いている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	管理者は時には職員に対し業務上における件で苦言を呈することもあるが、概ね、生き活きと働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者はサービスに対して概ね、満足されていると思うが認知症の程度によりサービスの受け止め方が様々で、職員の思いが届きにくい部分があるように思う。今後、職員の課題として行きたい。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	概ね、満足はされていると思うが、家族としては、身内をみてもらっているとの遠慮があると思う。今後とも、家族との信頼関係を一層強く遠慮なく意見と言える雰囲気づくりに努めて行きたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- 日常生活の中で、利用者の方に対して、決して無理強いはすることなく、自分の出来ることを行なっている。
- 介護に関しての固定観念に捉われる事無く、自由に生活できる、自然体をモットーにしている。
- 西予市より委託を受け認知症介護教室、IADL訓練等を実施している。認知症介護教室を通じ地域に認知症の理解について啓蒙して行きたい。
- 法人内の病院が道を挟んである為、事故、体調の急変等に直ちに対応できる事で入居者、家族の安心を得ている。
- 併設のディサービスと合同で種々の行事を実施して交流を図っている。（マンネリ化防止の為に役立っている）
- ホーム内の装飾、生活必需品、各種設備に至るまで、出来る範囲の物は、入居者、職員の手で作っている。